

# 希望の郷拠点中期事業計画

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

在宅生活を継続するにあたって、地域での生活を重視したサービスの提供を行うことで自分らしくいきいきと自立した生活が送れるように支援致します。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標）	目標利用者数 (定員 25 名)	2021 年度 7,700 名×0.85	6,545 名
		2022 年度 7,700 名×0.86	6,622 名
		2023 年度 7,700 名×0.87	6,699 名

### 2. 地域社会との関係性強化

地域ボランティアの受け入れや地域行事の参加、介護等の相談の受け入れをし、地域住民の多様なニーズに対応した地域に根ざした施設を目標にします。

KGI（重要最終目標）	指標の名称	算出式	指標値
	地域ボランティアの受	—	24 名

	入数		
--	----	--	--

### 3.生産性の向上

利用定員を20名から25名に引き上げ多職種連携の体制を整え、新たな加算取得をめざし、収益アップに努めます。また、人材育成による職員の業務遂行能力向上と業務の効率化を目指します。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標）	人時生産性	2021年度 44,000 千円 ÷ 18,088 時間	2.43 千円
		2022年度 44,880 千円 ÷ 18,088 時間	2.48 千円
		2023年度 45,760 千円 ÷ 18,088 時間	2.53 千円
	労働生産性	2021年度 44,000 千円 ÷ 9.5 人	4,632 千円
		2022年度 44,880 千円 ÷ 9.5 人	4,724 千円
		2023年度 45,760 千円 ÷ 9.5 人	4,817 千円

\* 算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換  
算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

### 1. サービス計画

利用定員を25名に引き上げ、利用者の拡大を図り事業規模の拡大を図ります。そして、外部コンサルティングによる科学的根拠に基づく「自立支援介護」を推し進め、介護技術の定着を図り自立支援サービスの充実・強化に努めます。

- ① 在宅での生活を維持するための機能訓練、重度化の防止
- ② 地域交流
- ③ 健康管理

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
利用者の状態 維持改善率	70%	同左	同左	理学療法士等と連携して個別機能訓練のメニューを決め実行する。

月間入院者数の減少	4%	同左	同左	健康管理を行い、家族様・ケアマネと情報共有し異常の早期発見に努め、長期の入院を防ぐ。
事故発生件数	10件以内	同左	同左	利用者にとって安心・安全な事業所を目指す。

\* 状態維持改善率 = 延べ維持改善者数 ÷ 延べ年間利用者数

入院者数 = 年間未請求者数 ÷ 年間利用者数

延べ維持改善者数；各年度初め或いは、その年度の途中開始時における介護予防或いは

は要介護度と各年度終了時或いは、サービス終了時における介護

予防或いは要介護度と比較して、維持或いは改善している利用者

の年間累計

延べ利用者数 ; 当事業所と契約を締結している利用者数の年間累計

年間未請求者数 ; 入院により介護報酬請求を行えなかった利用者の年間累計

年間利用者数 ; 各月毎の請求明細に基づく利用者数の年間累計に年間未請求者  
数を加えたもの

## 2.収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	50	51	52
サービス活動費用	44	46	47
人件費	29	31	32
事業費	7	7	7
事務費	3	3	3
利用者負担軽減額			
減価償却費	5	5	5
国庫補助金等特別積立金取崩額			
サービス活動増減差額	6	5	5

経常増減差額	6	5	5
--------	---	---	---

・計画サービス活動収益は利用定員数を 20 名から 25 名へ増加を想定し計画しています。

・計画付加価値額 2021 年度 44.00 百万円

2022 年度 44.88 百万円

2023 年度 45.76 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 65.9%

2022 年度 69.1%

2023 年度 69.9%

・計画人件費率 2021 年度 58.0%

2022 年度 60.8%

2023 年度 61.5%

### 3.人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
所長	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5
生活相談員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
看護職	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0
機能訓練指導員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
介護職	1.5	2.0	3.5	1.5	2.0	3.5	1.5	2.0	3.5
調理員		1.5	1.5		1.5	1.5		1.5	1.5
運転手									
	5.0	4.5	9.5	5.0	4.5	9.5	5.0	4.5	9.5

・人員計画は法人の事業所別人員数計画をベースとしています。

#### 4.生産性向上計画

##### (1) 事業規模拡大計画

利用定員を20名から25名に引き上げ事業拡大を図ります・

##### (2) 稼働率向上計画

稼働率を2021年度85%、2022年度86%、2023年度87%へ向上させて

いきます。

(3) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
入浴加算	入浴加算Ⅱ（既存）
個別機能訓練加算Ⅰ	個別機能訓練加算Ⅰロ（既存）
運動器機能向上加算	運動器機能向上加算（既存）
サービス体制提供強化加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ（既存）
処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅱ（既存）
特別処遇改善加算Ⅰ	事業所評価加算（既存）
事業所評価加算(申請中)	認知症専門ケア加算Ⅰ（新規）
	サービス体制提供強化加算Ⅱ（新規）
	科学的介護推進体制加算（新規）
	生活機能向上連携加算（新規）
	口腔・栄養スクリーニング加算（新規）
	口腔機能向上加算（新規）
	ADL等維持加算（新規）
	若年性認知症入居者受入加算（新規）



	生活相談員等配置加算（新規） 中重度者ケア体制加算（新規）
--	----------------------------------

(4) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
職員の休憩室の確保 (2023 年度実施)	休憩室を確保し、気分を切り替えることができ 仕事の効率を高めることができる。
レクリエーション IT 化 (2022 年度実施)	タブレット等を活用し レクリエーションを行うこと で、計画書や評価等の事務の時間を作ること ができる。

5. 地域との関係強化計画

取組み事項	具体的内容
○ボランティアの受入れにより地域での 事業所理解を育む。	地域住民及び学生ボランティア等を受入れ、レク レーション活動や事業所の行事を通じて利用者 との交流を図る。

○保育所との連携により園児の非認知的能力の育成に寄与していく。	保育所行事（園外活動）の一環として園児による事業所行事への参加等を実施する。
---------------------------------	--

## 6. 積立計画

3カ年の積立額は以下のとおりとします。

（単位；千円）

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	4,800	4,800	4,800
大規模修繕	0	0	0
その他	200	200	200
計	5,000	5,000	5,000

## 7. 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPに基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上